

製品づくりにもチャレンジし 龍野の革を積極的にPR



松岡皮革

所在地 たつの市神岡町沢田1351
 代表者 松岡 哲矢
 TEL 0791-62-1238

○現在の状況は

一九七四年より皮のなめし加工を始め、現在ではそれに加えて牛皮への色付けや仕上げを主な事業として行なっています。また、最近では当社も含む神岡町沢田地区の若手皮革職人六名が中心となり、沢田の特色ある革をもっと広めようと手袋や鞆等の革製品づくりを進めています。

○新たな取組みについて

沢田地区の革の模様には「迷彩柄」と呼ばれるものがあり、当社はそれをポーチ等の製品に取り入れています(写真)。「迷彩柄」とは、沢田地区でなめした白い革に、あらかじめ手で皺をつけ、その上に染料を落とすことで出来る模様です。手染めする際にわざと多くのムラをつけることで他には無い

面白い模様ができ、それを製品にするので一点一点全く雰囲気の違いに仕上がるのが特長です。

これまでの仕事は、なめし加工により「皮から革」へと変化させる工程を進めるだけでしたが、自社製品を作るようになってからは社員一人ひとりが「どんな革を作れば、より魅力的な製品が出来るのか」を考えるようになり、社内にも良い変化が生まれました。まだまだ始めたばかりで商品数は少ないのですが、これからもお客様のニーズを取り入れながら製品づくりにさらに力を入れていきたいと考えています。

○鹿皮も取扱い

冬限定ですが当社は龍野地域では珍しい鹿皮を取り扱っています。鹿皮は肌触りが大変やわらかく、牛皮よりも軽く仕上げられるので、ジャケット等を取り扱うアパレル関係のお客様によく使って頂いています。

鹿皮表面を何度も削る特殊な加工を施すことで、まるで薄い和紙のような肌触りになり、その革を

使った製品はお客様からも好評です。

○これからは

今年の二月には東京で開催された「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に、龍野商工会議所のすすめで初めて出展し、全国のお客様の声を聞くことができました。また、九月には沢田地区の皮革業者で開催する展示即売会にも参加する予定です。これからもこういった機会に積極的に参加し、「龍野の革」のPRを続けていきます。そうすることで、少しでも龍野の皮革産業の発展に貢献できればと思います。

